



# あだっこ

五條市立阿太小学校だより  
平成30年1月9日  
第27号

あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子



## あっという間に過ぎてしまう日々・・・

○昨日までとほとんど変わることのない朝なのに、なぜか元日の朝は空気も明るさも全然違って感じてしまうのは私だけでしょうか。

2018年の始まりです。明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。年の初めに今年1年の目標をしっかりと立てて、この2018年が充実した実りの年となるようにしたいものです。

また、今日は3学期始まりの日です。が、「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」という言葉通り3学期はあっという間に過ぎていきます。学校へ来る日は、6年生は50日、1～5年生は52日しかありません。この短い期間、さて、あなたはどのよう過ごしますか？



○ところで、みなさんは、「春の七草」って知っていますか。元々の「七草」は「秋の七草」を指し、春は「七種（ななくさ）」と書くそうですが、現在では、「春の七草」が定着しているようです。本年度の『あだっこ第14号』で、「秋の七草」を掲載していますので、今回「春の七草」も掲載しておきましょう。

せり (セリ)



なずな (ペンペン草)



ごぎょう (ハハコグサ)



はこべら (コハコベ)



ほとけのぎ (コオニタビラコ)



すずな (カブ)



すずしろ (ダイコン)



### 春の七草

○7日(日)に「七草がゆ」を食べた人もいられるかもしれませんね。「七草がゆ」は、邪気を払い万病を除く占いとして食べるという呪術的な意味ばかりでなく、おせち料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効能もあるそうです。

おもちやおせち料理の食べ過ぎでおなかいっぱいのあなた、お正月気分は終わりですよ。「七草がゆ」で整えた体調を維持して、まずは3月末のゴールに向かって、今日から全速前進！



(裏面に続く)

# 君たちはどう生きますか！



○みなさんは、テレビ等で話題になり大ヒットを記録している書籍、『漫画 君たちはどう生きるか』（吉野源三郎、羽賀翔一/マガジンハウス）を知っていますか。

『主人公は中学2年生の少年・本田潤一、あだ名はコペルくん。成績は優秀だけど、落ち着きがない。目下の悩みは背が小さいこと。母の実弟で、大学を出たばかりの「おじさん」と仲が良く、ふたりで遊んだり出かけたりしている。そんなコペルくんが、亡き父のかわりに導いてくれるその「おじさん」と日々の悩みや疑問を語り合い、弱い自分に向き合いながら大人への一步を踏み出していく・・・』

コペルくんの姿や考え方を通して、生きていくことの本質について深く考えさせられる児童小説です。



○さて、新しい年 2018 年、そして 2017 年度まとめの 3 学期が始まりました。この始まりを一つのきっかけとして、コペルくんのように、自分はこの 3 学期・この 1 年をどう生きるか考えてみませんか。

☆まずは、自分自身・・・

しんどいからと言って逃げたりあきらめたりしている自分と、しんどいからこそ頑張ろうとする自分。誘惑に負けそうになったり人の判断に流されたりする自分と、誘惑に負けずに自分で考え・判断し・行動する自分。

君は、自分の弱さに打ち克つことができますか？



☆次は、他の人とのかかわりの中で・・・

気持ちのよいあいさつとは？ 本当の親切や思いやりとは？ 本当の友達とは？ 自分を支えてくれている人々の気持ちにどうこたえるか？

君は、相手のことを最大限に大切にしていますか？

☆続いて、集団や社会とのかかわりの中で・・・

家族の中のひとり、クラスの中のひとり、学校の中のひとり、地域の中のひとり。だからこそまたなければならぬ役割と責任。守らなければならぬマナーやルール、文化や伝統。

君は、集団の中に自分もいるということを自覚し、行動していますか？



☆最後に、様々な生命や自然とのかかわりの中で・・・

無限の宇宙の中で生まれたひとりの小さな命。大自然の恵みによって生かされている命。受け継がれ受け継いでいくかけがえのない命のバトン。人として生まれ、人として生きていくことの喜び。

君は、小さく思うかもしれないけれど、実はとてつもなく大きなものの存在を大切にしていますか？



もう一度言います。この 3 学期・この 2018 年、君たちはどう生きますか！

※子どもたちの学校での様子等をブログで紹介しています。阿太小学校HPを開いて「ブログ」をご覧ください。スマホ等でも見ることができます。